



## 2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年1月28日

上場会社名 日本航空電子工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6807 URL http://www.jae.com  
 代表者 (役職名) 社長 (氏名) 小野原 勉  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 青木 和彦 (TEL) 03-3780-2752  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	178,382	△7.2	15,468	△4.4	16,260	8.2	11,834	7.9
2018年3月期第3四半期	192,212	28.1	16,172	105.4	15,029	255.7	10,969	241.9

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 12,023百万円(△1.4%) 2018年3月期第3四半期 12,195百万円(214.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	130.17	130.14
2018年3月期第3四半期	120.70	120.66

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	191,471	130,241	67.9
2018年3月期	189,817	120,895	63.6

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 130,076百万円 2018年3月期 120,748百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2019年3月期	—	15.00	—		
2019年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	222,000	△12.6	17,200	△16.6	17,500	0.8	13,000	0.5	142.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P6「2. (3) 四半期連結財務諸表及び主な注記(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期3Q	92,302,608株	2018年3月期	92,302,608株
2019年3月期3Q	1,382,826株	2018年3月期	1,411,404株
2019年3月期3Q	90,910,702株	2018年3月期3Q	90,881,724株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、四半期決算補足説明資料につきましては、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 2
(1) 経営成績に関する説明	P 2
(2) 財政状態に関する説明	P 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P 6
(継続企業の前提に関する注記)	P 6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P 6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P 6
(追加情報)	P 6
(セグメント情報等)	P 6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、個人消費の拡大などに支えられた米国経済は堅調に推移しましたが、通商問題の影響によって中国では生産・投資抑制の動きも見られるなど、期後半より、世界的に成長鈍化の兆しが見られました。わが国経済においても、内需に牽引される形で緩やかな回復が継続したものの、世界経済に対する懸念から急速に不透明感が高まりました。

当社グループの関連するエレクトロニクス市場においては、携帯機器市場が成熟化しつつあることに加え、産業機器市場では中国における設備投資抑制の影響により需要が減速しました。自動車市場は電装化を背景に概ね堅調に推移しましたが、欧州、中国市場においては減速感が見られました。

このような状況のもと当社グループは、成長市場・機器に対し、積極的なグローバルマーケティングと新製品開発活動のスピードアップによる受注・売上の拡大、内製化、設備効率化による生産性向上、及び諸費用抑制など経営全般にわたる効率化を推進し業績向上に努めました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、上述の外部環境の悪化を背景に、携帯機器・産業機器市場において所要減少の影響を受けたことから、1,783億82百万円（前年同期比93%）となりました。

利益面においては、営業利益154億68百万円（前年同期比96%）、経常利益162億60百万円（前年同期比108%）、親会社株主に帰属する四半期純利益118億34百万円（前年同期比108%）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、売上債権等の回収に伴う現金及び預金の増加、新製品生産用設備投資や主力生産拠点における工場増設による有形固定資産の増加などにより、前連結会計年度末に比べ16億53百万円増加の1,914億71百万円となりました。

負債は、仕入債務の減少や約定返済による借入金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ76億92百万円減少の612億29百万円となりました。

純資産は、主として親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、前連結会計年度末に比べ93億45百万円増加の1,302億41百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の通期業績予想につきましては、第3四半期後半から広がる不安定な経済環境の影響を受け、当社グループの主要市場である携帯機器・産業機器市場において需要の減少が見込まれることから、2018年10月26日に公表いたしました予想値を下記のとおり修正いたします。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	241,460	19,210	19,610	14,450	158.94
今回修正予想 (B)	222,000	17,200	17,500	13,000	142.99
増減額 (B-A)	△19,460	△2,010	△2,110	△1,450	
増減率 (%)	△8.1	△10.5	△10.8	△10.0	
(ご参考) 前期連結実績 (2018年3月期)	253,947	20,632	17,357	12,936	142.34

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	39,439	44,954
受取手形及び売掛金	46,529	40,764
たな卸資産	18,940	19,800
その他	8,607	7,677
貸倒引当金	△89	△76
流動資産合計	113,427	113,119
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,817	24,059
機械装置及び運搬具（純額）	20,196	19,680
工具、器具及び備品（純額）	7,753	8,228
土地	6,069	6,080
建設仮勘定	5,182	5,792
有形固定資産合計	62,018	63,842
無形固定資産		
投資その他の資産	3,414	3,216
繰延税金資産	4,066	4,345
その他	7,029	7,087
貸倒引当金	△139	△140
投資その他の資産合計	10,955	11,293
固定資産合計	76,389	78,351
資産合計	189,817	191,471

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,953	35,314
短期借入金	6,189	6,014
未払法人税等	3,786	2,765
取締役賞与引当金	115	90
その他	9,944	10,279
流動負債合計	59,988	54,464
固定負債		
長期借入金	7,258	5,201
退職給付に係る負債	873	786
その他	800	777
固定負債合計	8,932	6,765
負債合計	68,921	61,229
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,690	10,690
資本剰余金	14,508	14,523
利益剰余金	94,092	103,199
自己株式	△1,070	△1,052
株主資本合計	118,220	127,360
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,411	1,091
為替換算調整勘定	△213	348
退職給付に係る調整累計額	1,330	1,276
その他の包括利益累計額合計	2,527	2,716
新株予約権	147	164
純資産合計	120,895	130,241
負債純資産合計	189,817	191,471

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	192,212	178,382
売上原価	159,378	145,376
売上総利益	32,834	33,005
販売費及び一般管理費	16,661	17,537
営業利益	16,172	15,468
営業外収益		
受取利息	45	59
受取配当金	89	115
為替差益	352	891
その他	115	261
営業外収益合計	603	1,327
営業外費用		
支払利息	61	43
固定資産除却損	1,628	416
その他	56	74
営業外費用合計	1,746	535
経常利益	15,029	16,260
税金等調整前四半期純利益	15,029	16,260
法人税、住民税及び事業税	4,078	4,540
法人税等調整額	△18	△114
法人税等合計	4,059	4,426
四半期純利益	10,969	11,834
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,969	11,834

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
四半期純利益	10,969	11,834
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	497	△319
為替換算調整勘定	719	562
退職給付に係る調整額	8	△53
その他の包括利益合計	1,225	188
四半期包括利益	12,195	12,023
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,195	12,023
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

ただし、当該見積実効税率により計算した税金費用が著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率により計算する方法によっております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	コネクタ 事業	インターフェース・ ソリューション事業	航機事業				
売上高	176,918	6,379	8,282	631	192,212	—	192,212
セグメント利益(注)1	18,628	624	105	233	19,592	△3,420	16,172

(注)1 セグメント損益は、四半期連結損益計算書上の営業損益であります。各報告セグメントへの配分が困難な本社スタッフ費用等の一般管理費3,420百万円については調整額としております。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他の物品の販売並びにサービス事業を含んでおります。

当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	コネクタ 事業	インターフェース・ ソリューション事業	航機事業				
売上高	160,323	6,276	11,119	662	178,382	—	178,382
セグメント利益(注)1	17,051	408	1,294	158	18,912	△3,444	15,468

(注)1 セグメント損益は、四半期連結損益計算書上の営業損益であります。各報告セグメントへの配分が困難な本社スタッフ費用等の一般管理費3,444百万円については調整額としております。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他の物品の販売並びにサービス事業を含んでおります。